

四半期(6~8月) MVP 経営理念大賞

【対象期間】

2021年3月1~22年2月15日
(3~5月、6~8月、9~11月、12~2月15日)
各回で3名 MVP を選出

各回 MVP 受賞者から 21 年度の、
「最優秀賞」「特別賞」「優秀賞」を選定

朝野 晋吾さん (アイ・ロジアドバンス)



多胡さんは、大型車で工場 - 倉庫間輸送をメインに活躍しています。仕事の待ち時間にはお客様先の敷地清掃をしたり、他の人の仕事も率先して手伝うなどして、お客様からお礼の言葉をいただくほどです。さらに、多胡さんの活躍から新規大型輸送案件の獲得にもつながりました。

受賞に「普通に仕事をしていただけです」と謙遜しつつ、「職場(協栄)が良い環境なので、周りの人のおかげです。協栄から自分以外の受賞者を出せれば」と話していました。

平山 菊次さん (全京運輸)



グループ経営理念「真心つなぎ人財づくり」を率先するスタッフさんを表彰する「経営理念大賞」。今年度から3ヶ月(四半期)ごとに MVP を選出する仕組みとなり、6~8月の MVP に3名が選ばされました。

ITスキルを駆使し、通信設備の見直しによるコスト削減や、各種書類の作成・改変など、業務改善へ積極推進しています。何事にも前向き思考であり、常にできる方法を考える姿を社内で高く評価され、推薦されました。

朝野さんは「業務効率化のため、ルールや仕組みづくりに重点を置いた3ヶ月でした。お役に立てたことをうれしく思います。推薦してくださった方々に感謝しています。ありがとうございました」と語りました。

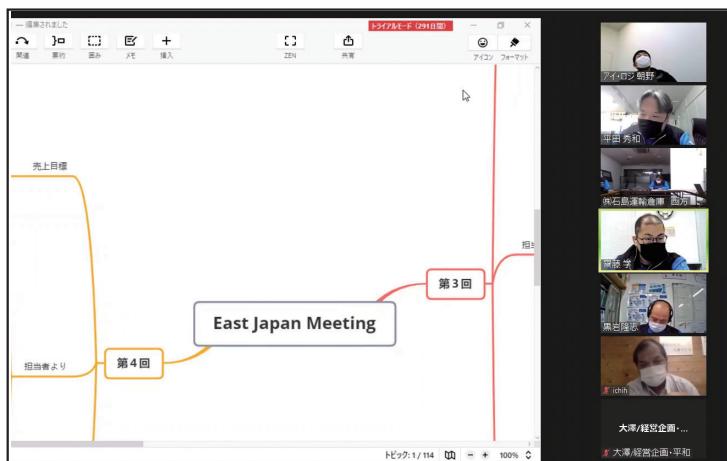
多胡 和秀さん (協栄運輸)



幹線便を現役で運転されている平山さん。もうすぐ60歳というベテランで、曲がった事はせず、熱く業務に取組んでいます。最近は後輩へのアドバイスを率先。また、自身の経験から運行の変更等の提案し、他の班のスタッフさんと調整したりと、多方面で会社に貢献し、推薦されました。

平山さんは「MVP賞をいただき、ありがとうございます。これからも、経営理念に則った行動、安全運転を続け、会社に貢献したいと思います」と述べました。

East Japan Meeting ってなに?



シナジー効果で 売上拡大を

EastJapanMeeting（イーストジャパンミーティング、東日本会議、通称：EJM）という会議が、隔月で開かれているのはご存知だろうか。石島運輸倉庫、マルトウ、アイ・ロジアドバンス、協栄運輸の4社が参加し、シナジー（相乗作用）を発揮して業務拡販へ繋げようという取り組みだ。

EJMの始まりは2018年度ごろで、石島運輸倉庫一社担当者が、顔も名前もわからぬ状態であり、交流を図ることを目的に、「東日本ブロック担当者会議」という名前で始まった。当時はお互いの配車担当者が、顔も名前もわからぬ状態であり、交流を図ることを目的に、「東日本ブロック担当者会議」という名前で始まった。

2ヶ月に1回会議

20年度以降にはアイ・ロジや協栄も加わり、名称をEJMに変更した。

現在では、各社が持っている案件を紹介し合い、参加事業会社が一丸となって、売上拡大につなげている。また、採用活動や教育方法など、議題の幅を広げ、互いの長所を吸収し合っている。

現在では、各社が持っている案件を紹介し合い、参加事業会社が一丸となって、売上拡大につなげている。また、採用活動や教育方法など、議題の幅を広げ、互いの長所を吸収し合っている。

川島 例えれば石島とマルトウの配車担当者が2人で営業することにもつながりました。両社の持っている長所をセットにして、お客様にアピールできる。EJMは連携のための貴重な場になっています。

「シナジー発揮に役立つますか？」
川島 「始めたきっかけは、各社それぞれに特長・良い所があります。それを共有していくことを始めたときから、EJMは連携のための貴重な場になっています。

石島運輸倉庫
川島専務

EJMのねらい

ilinkgram

#もっと楽しくがむしゃらに #小集団活動
#石島運輸倉庫第二事業部下期キックオフ

お知らせ

石島本社敷地に
進入禁止標識設置



群馬県南つ入ま
島営の運業入車と
庫南に進入
所口両なり
馬部で止
運輸倉庫の
門だ
からまし
に進りま
て禁了。
北進す
らまし
かいが
だ願
い
ます。

